

京四二史







序

桓武天皇の延暦年中に  
 の都と平安陸介に京に移さ  
 れりしや下りては  
 道に小流石の鬼神通代  
 女皇御所を造りて  
 家長とては續謀りて  
 半はつては魚ては  
 易学盛乃花の都といは  
 しの時や雖も四知八  
 忙して舊地名跡社  
 諸士百たたは元海  
 師久也法織高店満  
 東西小魏と半といは





まるく人稀ありて況んや海國  
 の人ありあり居る方角に在り  
 て向くことごとく花洛縦横故  
 實と志ふは家のみならず  
 かく式割浪と貴一費用と妨  
 むくくろ路と運と依て予  
 水も山も此に安んじ道も  
 にもあまの果も物もことごと  
 綴り新と来て其毛と深も  
 縦横筋乃こまやのれん事  
 といんて京相三言こと名付仕  
 ちるも此余也千時貞亨才  
 二林鐘日洛陽お水雪半  
 自序

孤松子

京相三言卷之一

凡例

- 一 京洛縦横所小洛法書新詳之
- 一 中漢經多也依之南北を尾
- 一 東西の始終并洛中を過り
- 一 水北不付乃予童蒙歩の
- 一 商店諸人亦一所に教を
- 一 とも通ての下に附し易衣飲食
- 一 物器賤相承る
- 一 山洛國中并洛内外をあら
- 一 新の石水名地水名洛中
- 一 陵墓旧地諸を名佛古額中
- 一 史事亦以て三統改補之基を
- 一 老圃化歸人花洛一見つれ又

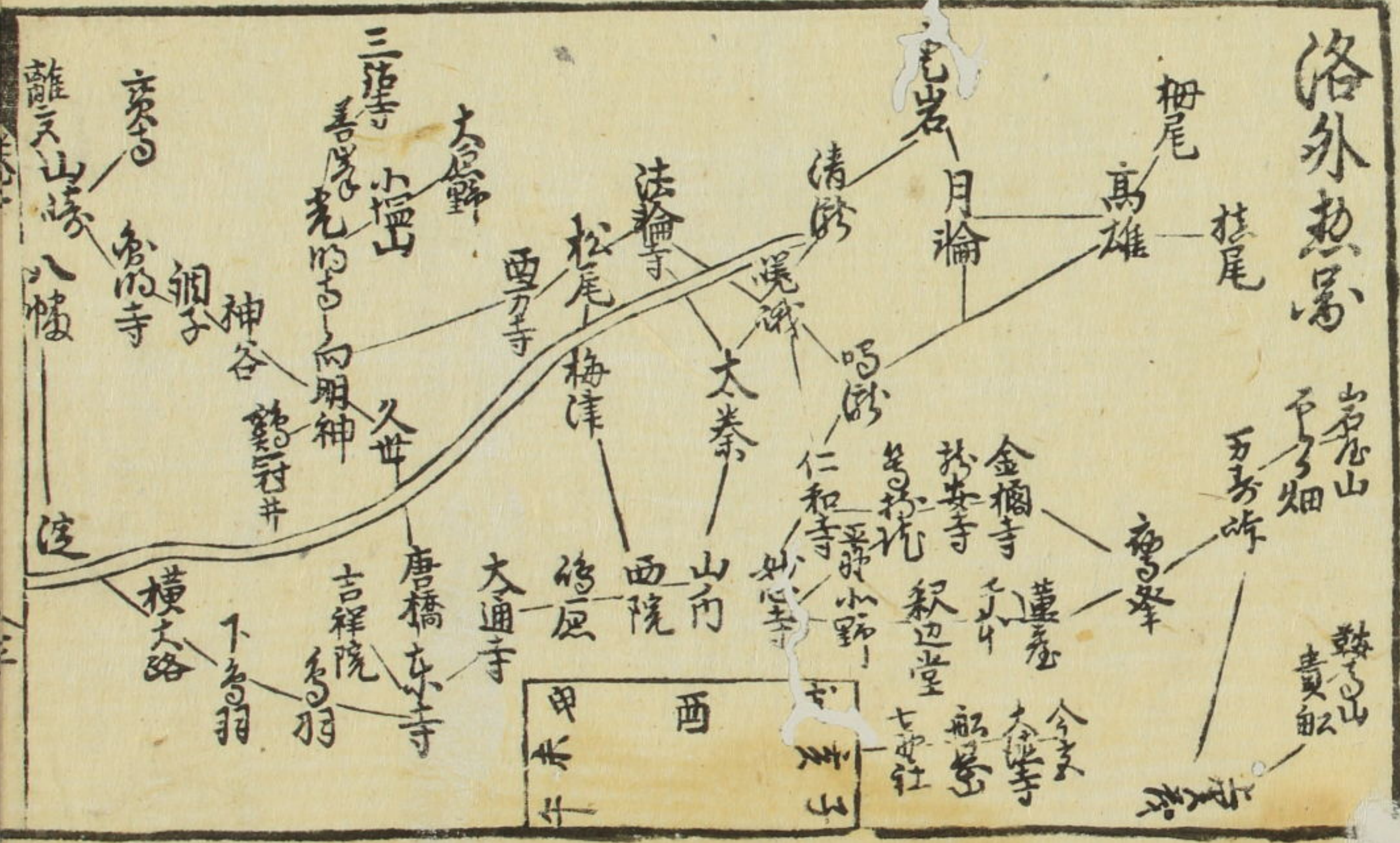


一 祭祀法事會式安令遊便  
 一 神社佛場之所領并社家神  
 塔院之末以下妻記院  
 之坊位茶木安均  
 一 林小書印公家屋法入名在屋  
 下付并為之居異服下付小  
 概記之安投桑古西意道  
 親疎各道便巨均承  
 一 諸師名道法織選  
 名下付未微細記之能病  
 為醫之法流相承族為指南  
 傳授雖然京洛廣博地予  
 所見同流外尚可教多侍  
 後人流削而已  
 氏例終

京師三寺寺二月錄

- |      |      |
|------|------|
| 洛外惣局 | 三丁目  |
| 遷都   | 四丁目  |
| 南北海中 | 五丁目  |
| 東西洛中 | 十二丁目 |
| 洛外所  | 十八丁目 |
| 洛中辻子 | 廿二丁目 |
| 洛陽天名 | 廿四丁目 |
| 名池   | 廿七丁目 |
| 名砂   | 廿九丁目 |
| 名橋   | 卅一丁目 |
| 名木   | 卅三丁目 |
| 名山   | 卅五丁目 |
| 名峯   | 卅七丁目 |
| 名谷   | 卅九丁目 |
| 名    | 卅四丁目 |



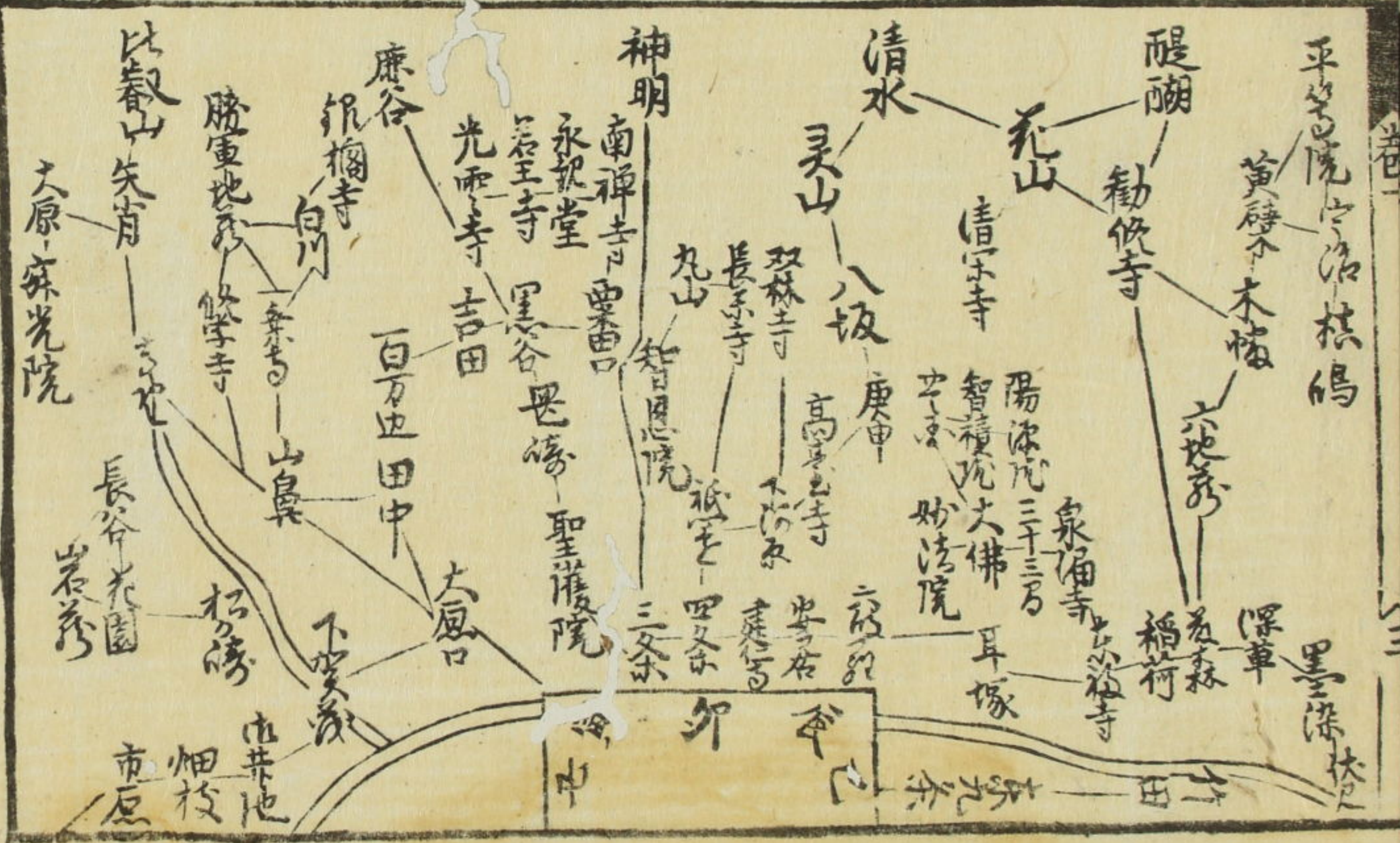


京外三皇寺三目派終

五十六  
 八系  
 五十三  
 三橋  
 五十四  
 尾  
 五十二  
 野  
 四十九  
 里  
 四十八

五十七  
 景  
 五十五  
 七  
 五十四  
 回  
 五十三  
 景  
 五十二  
 景  
 五十一  
 景





逸勢

人皇弟一  
神武天皇御宇 日高宮造部  
同 御宇 大和國橿原郡  
計前代天皇日林と大和乃木部と一  
後、セウノノ事、サケクアカリ

- 十五 成務天皇御宇 近江國志保郡
- 十四 仲哀天皇御宇 長門國長門郡
- 十三 神武天皇御宇 筑前國杵築郡
- 十二 同 御宇 大和國橿原郡
- 十一 仁德天皇御宇 大和國高市郡
- 十 履中天皇御宇 大和國高市郡
- 九 反正天皇御宇 河内國深井郡
- 八 元孝天皇御宇 大和國高市郡
- 七 安康天皇御宇 大和國高市郡



七十七代 继体天皇御宇 山城國 綴坂郡

同 御宇 山城國 乙訓郡

七十九代 宣化天皇御宇 大和國 入部郡

八十一代 仁徳天皇御宇 大和國 葛城郡

八十二代 孝徳天皇御宇 橘江 橘郡

八十三代 明徳天皇御宇 大和國 葛城郡

八十四代 天智天皇御宇 近江國 大津郡

八十五代 天武天皇御宇 大和國 葛城郡

八十六代 地統天皇御宇 大和國 葛城郡

同 御宇 山城國 平野郡

延暦十三年甲戌の年乙未安

謀今の京も極むるも也貞享

式乙丑の年まで八百九十二年

後より萬歳といふ一歳

### 南北洛中

京極通 寺町通より小鞍子  
口より南(五条橋迄)

又高瀬川より南(東の江も内新  
屋敷七条迄)まであり

け町筋諸織賣物大藏

角細工 人歌歌 繪る押絵

石塔 万石石物 珠敷

引石 杖箱文庫 佛師

唐華細工 張貴細工 振脇指

子掛風呂敷 琴糸日糸 三味線日糸

弓矢師 日 扇子

漆や 木屋 硯や

御土御通 昔目太筒者者云云坂  
川立族の附林申中意内



よかたしびは町筋とありあり  
くものれし御寺の町と云傳(傳り)  
水がさうり本町通(南)五条橋迄  
と云ふれり下寺町へ通流出整  
此西の方天お二亥れり初て園之  
又六条より南へ七条材木所と

け町筋法藏上人概

佛師 日下 金ヶ師

本北校 日下 東園向や

玉細工 日下 月切子や

金利塔 日下 五条

青母 日下 三層麵と

素者 日下 多うり

### 白山通

今水名や町筋と云ふれり本  
町通より南へ五条橋迄まで

け町筋諸職大概

味地屋 日下 東園向や

鑛源治 日下 畑まや

舟師 日下 舟り

### 五条通

橋魚が東より

本覚寺上徳寺の  
まへより東にち内町筋の

け筋法藏賣物

目下 白草屋

目下 古道々

柳のる傷通と云ふ南に  
右と目下

け通法藏商家

目下 合羽や

目下 茶柄抄

### 堺町通

け通林が裏る北門  
とらこ二条通の下に

本町通四条迄にて巷の  
突抜と云ふれり本町通より  
へ後代少流通す又佛光寺通



より五条橋通まで又五条橋通  
一所止揚梅通分南へ東新橋  
支七条通まで

け通諸織商家

針糸や 糖販治

高倉通

け為小高頂妙寺にて  
目蓮宗の石屋といふ二条

此より頂妙寺通まで頂妙寺  
二条東川原へ石ありけ為小高  
町通より佛光寺門前にて切通又  
是通通多角へ東此より七条通

け通諸織商家

竹屋 扇屋

け通諸織商家

石の所通  
小出水通分南へ姉  
少高直母花伝坂

と又高过河分松原通と一所ありて  
又万壽寺通分南へ七条通と

け通諸織商家

織物法門や

東洞院通

小高直母花伝坂  
分南へ七条通まで

そし分南へ堂受過子東九条村を  
と南へ伏見竹田へけ乃也

此通諸織商家

茶柄板

金銀文や

三味線や

油煙墨

車石所通

小出水通分姉ヶ少高  
通と又松原通分南へ

七条通まで因幡堂つぎぬけと  
とりごとあるものも通と云

此通諸織人



堅地カチ 其カチ 車カチ

安菓アノカ 餅カチ

馬丸通 小の上立臺元柳の  
过子分南へ東門迄七

糸通イト まで

は通 諸識モロシ 賣ウ 丸

長ナガ 文ブ 箱ハコ 蔣シヤウ 繪エ 屋ヤ

絹ヌ 布フ 屋ヤ 借カ 師シ 屋ヤ

竹タケ 葉ハ 色イロ 付ツキ 下シタ 紙カミ

港ミナト 賣ウ 會カイ 竹タケ のノ 皮カ 色イロ 付ツキ 下シタ 紙カミ

西ニシ 登トビ 町チヨウ 通トウ 小丸太町通分三糸  
通まで又もは通

坊ボウ のノ 町チヨウ 通トウ とト 云イハ 此コノ 小丸三糸分三糸ウウ 石イシ

菊キク 繪エ 屋ヤ 金カネ 糸イト 朱シュ 丹ニ 丸マル 赤アカ 糸イト 屋ヤ 赤アカ 糸イト 屋ヤ

室町通 小丸く油口上は是通  
分南へ東中丸寺六糸

此通 高家 織オリ 人ヒト

葛クワ のノ 紗サ や 小コ のノ 下シタ 長ナガ 者モノ 町チヨウ 通トウ 小丸

呉キ 服フク 向ムカ 屋ヤ 五イチ 糸イト 下シタ 長ナガ 者モノ 町チヨウ 通トウ 小丸

木キ 綿ワタ 色イロ 小コ のノ 下シタ 長ナガ 者モノ 町チヨウ 通トウ 小丸

衣イ 棚ナ 突ツキ 後ノチ 南ミナミ へヘ 三サン 糸イト 通トウ まで 又マタ 松マツ

魚イサ のノ 上ウヘ のノ 南ミナミ へヘ 五イチ 糸イト 橋ハシ 通トウ とト 三サン 町チヨウ 通トウ

此通 高家 呉服屋 小丸

町チヨウ 尻シラ 通トウ 新町通と云い小丸へ  
町尻のころる家三糸

小丸尻は是より南へ七糸通  
すし

は通 諸織高家



出水

清屋

糸切や

綿屋

肩作や

加々川

ちやらん

湯屋

糸切や

長湊向

屏門

糸切

相箱

長持

糸切

あや

金高実校

山の中者所通

より南

町通

此通

諸織

高家

練張

佛具

西洞院通

小島者

流太

此通

法織

高家

紅屋

刀

紙

中おや

茶

深

久人

紙

半切

麻比紙

紙

左

少通

穴寺

の

高

通

分

実校

此通

諸織

組

糸

高

本綿

高

家

仲

小

路

ハ

不

動

通

諸

織

此

通

諸

圓

刀

脇

目

貫

高

高

高

家

中

佛

々

仲

小

路



醒井通

はらわに南一ノ条と  
とり下二町三町

のトとち又誓言寺通と西条坊  
口とのりも町越は実校町  
又又綿小路通より南へ西  
本筋もまてい通綿の小路  
若きと和泉もちの屋敷あり  
く和泉のつぎのき通と云

此通諸儀高家

深衣は 使人惟我 古なりや

草さや

赤坂通

水いとの内通より南  
一ノ方より通まで

此通賣の高家

楠丸 延治を

西堀通

水いとの所通より南へ  
松原通を岡吉と云

此通諸儀高家

一ノ条 延治

あつ親 下 榎井 舟 舟 舟

屏風子 戸棚や 古道や 古家や

岩神通

いんか 町通と云いえ誓言

寺通分南へ九太町通と云  
あつ親通分南へ松原通と

は通織人 雲也

組系納め 判力口 延治 古なり

猪熊通

水いえ誓言通分南へ  
二ノ条通分南へ

馬場下二町分南へ松原通と云

は通織人

三ノ条上 本履 色下分延治 其葉

黒門通

水いえ誓言通分南へ  
九太町通と云い地通分







控次堂まで

### 東西洛中

鞍馬口通

東より所通水の以て  
西(新町通)まで

水の町

ら清きみまで

寺付通

東より室町通より  
西(寺付通)まで

寺付

上立賣通

東より寺付通より  
西(上立賣通)まで

此通高家

呉服

選糸や 筒高賣

寺通

東より大立賣通より西(寺通)  
東の寺も各々まで  
大立賣より東(室町)まで  
西(寺付)より西(高家)  
織や糸高賣

須戸町通

東より小川通より西(須戸町通)  
小川通より西(高家)

概指織や

今出川通

東より所通(小川通)より西(今出川通)  
大立賣より西(高家)

安所より所通(今出川通)より西(安所)  
より西(高家)まで

以通諸織

水引

元新頼通

東より新町通より西(元新頼通)  
寺付通より西(高家)

乃内通

武者小路通

東より乃内通より西(武者小路通)  
西(小川通)まで

地所堂前より所通(武者小路通)より西(地所堂前)



い通諸織も家  
八百屋 本綿詰や  
糸通  
糸通七を扱きで

は通諸織  
古道具

書物や 簞笥本  
茶刀 瓶詰

心親町通  
中五賣通と云東は  
と丸禁中西は門茶

西へかき通まて  
い通諸も家  
呉服

土御門通  
長上者町通と云  
西中五賣通と云  
い通諸織も家入組也

中長者町通  
東は室町通と云  
仲の山通と云

右月形  
下長者町通と云  
い通諸織も家

新立家  
中り町と云  
南西町

出永通と云  
東はあいの町通

迎衛通  
北所あいの町通

通内中  
まて此と云  
い通諸織も家

勅諭申小路通  
下五賣通と云

より西へかき通  
い通諸織も家



吳服あはだて 板本いたほん 柴薪しばき

中津門通なかつうら 東にいてうらへ所を

通とく東にうらへ所通より西へ

りり川ありあひかりし通まで

は通諸織法高人

九太所通とく東を

も所をより西へ

は通諸織法高

材本屋

竹屋所通とく東に寺

町通を西へりり川通を

馬道名

竹屋

此通賣物

小力利服活

あひかりし

は通諸織法高

書打屋

茶種屋

毛貫袂

東に寺町通よりりり

押小路通

川東のりへ

あひかりし

本地名

書打屋

茶種屋

毛貫袂

東に寺町通よりりり

押小路通

此通賣物

小力利服活

あひかりし

は通諸織法高

書打屋

茶種屋

毛貫袂

東に寺町通よりりり

押小路通

此通賣物

小力利服活

あひかりし

は通諸織法高

書打屋

茶種屋



此通法藏高人

古多や 手入 鉄屋

礎石や 石つや

三條坊通 東より八条町通云

西より八条町通云

西津泉荒れまきま

け通法藏高人

自貫の類 切納内を 万倍同や

小カサ

姉小路通

東八条町通より西へ

あはれ町通まで

此通法藏人

車か

桶持や

東より八条町通云

西より八条町通云

それより法藏あり二のり也

此通法藏高人

雷焼也

珍師

扇や

紙や

漆師

風呂釜

折言寺通

け通法藏高人

縮布や

襦袢や

襦袢や

漆師

深條坊通

漆師

童真某師通云



六通 法藏高家

玉也 舍利塔也 目切也

錦文通 びりり右月

は通高家

八百や

四條通 東に祇園町より西に  
大まへありまう

は通法藏高家

祇園三町 他日花 鼻身入

衣おれ糸 崇文庫 帳や

中一もや 竹乃乃也 羽筆也

玳瑁算 人歌や 枕二也

條子杖 楊枝 茶湯茶乃具

茶種や 台しや ちりりや

身也 仲燈墨

綾小路通 東は町由より西に  
大天由西にまき

此通諸商人

本綿屋家や

茶坊通 佛花より西に  
右小町

は通諸高家

新町茶屋車 本綿屋 茶作

高辻通 ひりり右月

は通諸商人

古道具や

五條通 本東通より東に  
川原六より坂より西

より西に大文通より野より西

は通法藏高家

寺後師 番屋 新屋

あやし びりり 伝身や



紙の具や

### 樋口通

万葉にも通じしや  
け通柳馬場や入町

二万葉にも通じしや  
今八束  
福寺の境内にあり

け通法威人

井筒

舟

引板

板木や石

### 六条坊通

五束橋通に  
清水も通

此の所にて  
醒井通にあり

け通法藏法意

寺

振舞や

人形や

絹布や

書物や

湯屋

和服や

木綿や

### 揚梅通

セキや町通  
かハ高倉通にあり

### 六條通

け通  
あり

### 伏女半通

け通  
あり

### 七条坊通

け通  
あり

### 米沼通

この西六条にあり  
と大般若のあり

おや町通に南にあり  
寺町  
玉町の多し  
又新町通にあり  
内もくたや町通

### 七条坊通

この六条にあり  
町にあり

### 米沼通

この西六条にあり  
と大般若のあり



七条通

東に大佛正面より也  
西所の末にありしなり  
現堂松の尾所旅所もしり  
丹波へ乃乃也

新木

は通る家

新木

塩小路通

今れ七条下奥のたふ  
通なり東に西にあり  
七条下止あり西に大文通まで

條坊通

今本津を橋通と  
云ひしをわりの通  
此川下よりあり大文通まで

梅小路通

は通る今文通あり  
朱雀坊珠通八条より  
て町やなり

條通

お家あまもことまはやく農氏  
乃柄方なり

針小路通

は為りし所家あり  
わりの川通れ末にあり  
てあり九条より家とありあま

九條坊通

是よりへ竹原路  
とつるも是なりなり  
川のありは家ありありあり

唐橋通

是より(田原井路  
とつる也今八田畠  
れよりして人の家吾もあり

九條通

大文通あり東寺南  
乃門の多しは家あり  
かありしは農家也

河外町



のぼり通

角の念の家は通二  
条よあまの世に角乃  
く通とこといふ荒林に草堂の  
観音此小の方より南へ四条通下  
にありや町まで又とて一りわさ  
水川なる南へ北条通と町と

二条上三丁

は通諸人

二条下

石塔

石井筒

石塔

塩多や

石塔

おのり

石塔

大木町通

河東町の町所は  
尖り町と云ふ  
町と云ふ所より南へ四町町家  
ありと云ふ田中泉寺と云ふ門  
徒と云ふ所ありはまの町と  
大町と云ふ所ありはまの町と  
云ふ所ありはまの町と云ふ所

大う町権左町とあり南に  
善なる寺と云ふ浄土の故を  
初めありかむと云ふし樵木  
町と云ふ所あり

樵木町通

二条川系にあり  
小川と云ふ善なる寺  
あり此寺の門前より南へ  
ありかむ生例の町とあり  
此がくは又此川のありと  
遷りて南と云ふ川あり  
此通より南に念の家あり  
不伏山の瀬ありはまの町

二条下

はまの町諸高家

生例川

振草や 樵木

辰

村本 ころく本

とては

柱三角 町社

岡本町通

五条橋南へ下流  
あり大佛正面より



まては通万青の菓子取の  
子千お取のしや町ゆくの  
ことに市場なり

### 鞆の筋通

五条より浩ひく三  
とら目七南へ大佛  
正面よりまうとく

此より法蔵人  
あや 栢や かしや

### 伏見園道筋

五条より浩ひく一  
二筋目より南へ  
かりあめよりうま伏見たて

此より法蔵商家

ませや 大正通号 揚枝や  
栢火弁 竹杖 種物取  
土人取 地蔵堂  
鉄炮火備 瓦や かりけ  
南裏焼塩

### 袋町筋

五条よりよりの茶(湯)  
目なりと八里町より

とと云ふを松原通より南へ  
大佛正面よりまてそれら身  
塚の茶(湯)もこの本筋のゆひや  
あり

### 大佛仁王門通

五条より(茶湯)  
目なりゆいて

三條上より東町より三條おと  
て町大和橋四條下より東  
がより建仁寺あり依り建仁寺  
町と云南へ大佛仁王門前へ  
それより南へ大佛南北門茶  
湯より町へ出る

此より法蔵商家

古くは 日 茶屋  
日 俚人食や 四條下 ありや 古くは  
古道具 五條下 あり



滑谷道

あるは... 五条橋通あり... 南(下)所ひいへ

大津(通)ふわたり五条... 通乃南(三)とび目仁生... ひがし(入)町長刀町... 二橋所をくわんや町... ちの町通乃末一... 三むに新町石塔乃町... 乞々山科道をわ大津(出)こ

智恩院新屋敷町

三條白川

ひがし結東(ひ)らとん院石橋へ... 出るは茶西(ひ)西と古(茶)三言... 町と三と西(三)条ありて(出)る... 又(橋)と南(ひ)ハ山門橋の... 場茶(西)と南(ひ)ハ山門橋の... ヤ(三)かり山門の(ひ)と(三)き(東)

ころり町を南祇屋ろろん乃... 申すて出る

三條南裏町

三條ろりあり... 三村のひい

町家ありなる町... ひがし白川... 不(と)ろ(と)ろ(と)高(と)と(と)

七本松通

川邊れらんとん茶

あしとと

右近馬場通

ゆのひうれ多居... の茶(南)西

乃京下まより通まてげ下(津)

子町あり... 此(津)城乃あり(出)三條通(出)せ

鳴原

見傾城町湯未... 申乃方(又)あり上ノ



町中の町西洞院中堂下町合  
町なり

### 海中过子

後者过子

室町通改町上西  
丸茶とら二町上西念

川勝过子

室町通一町家  
ぎり

忍过子

室町とらか  
町清盛口

天神过子

寺内通一町  
一町ありとら所

扇の过子

かり川通の上を法寺  
乃水町なり

宗忠过子

天神のは子  
入不

地獄过子

山野西方ちれり  
少人町ありとら所也

柳の过子

くすね通上ま  
とら所

風呂过子

室町通上ま  
ひり入柳れは子、移り

観世过子

大まやとらあり  
あり入不

蔓陀羅过子

かり川とらあり  
一町ありあり入不

紋倉の过子

大まやとらあり  
一町ありあり入不

伊霊过子

室町通今出川  
一町あり西入ありとら

芝の过子

ちの内通室町  
あり末の下町あり

本町の过子

小川通まの町  
のま町上あり入不



山崎は子

右田十人からわり川  
ありへ入也

石原は子

北はこころわたり大まこと  
アビガト入也

近傍は子

今出川とよりある  
町ありへ入也

信楽は子

ちの内とより室町の  
ありへ入也

芝のは子

右田とより町南  
の町也衣の衣分す

瓢箪は子

右芝のつり二所  
南の町あり

島出は子

右ひつりんの辻子の南  
の地又ぬき子ト也

今けは子

右とよと山辻子の南  
町也今出川通上町也

住昭方は子

右とよと山辻子の南  
氏者の小治下町也

狩野は子

え世最ちとより町  
町ありへ入町あり

大塚は子

西のさうの通え口  
分りト下町あり

橋は子

右とよと山辻子の南  
とわぬがと左四分

竹原は子

ほり川とより寺の内  
とよりト下町あり

聖天は子

大まことより紋やの辻  
子のありと下町

極のは子

右とよと山辻子の南  
の南の町あり

大聖寺は子

聖門通一乗上町也

いとのは子

あやとんまよりの  
町

大谷は子

右とよと山辻子の南  
ありへ入下町あり



とげ子

室町通と新町乃石  
三糸止下六角通、後

鐘木子

綿の少路通新町と  
室町通の多ト止下

長板子

四糸通一し新町通へし出  
く九通たやう  
通下九町あり也

灰の板子

あきふ通新町あり  
入町四糸通一抜

膏木子

四糸通新町あり入  
町後の少路通へ出

水雲子

高は通東のざり合通  
少入同宿下れ小

楊梅子

五糸入るを町南  
たらく通あり入町

大龍子

三糸即板町あり  
則大まじの内こなや

くしは子せいざんどのけ子いつこ

どんがり子

建仁寺町四糸下町  
西へ三河町石浜町分

茶師子

同通あり通下ル  
町いがーあり

室賀子

ひんしん通七  
糸のみあり

洛陽具名

清苑口

室町通われ八町あり西へ  
入聖へ出るを今上り

鞍馬口

ち町通の水の八町あり  
出るにしろ他へもえむ村

安房院

寺の内通大を心通南北の  
ありと云

木の下

室町通の八町あり  
茶の通西へ入る則西の



安樂寺小路

安樂寺小路の西に新

柳原

室町上は其の前の為

塔の腰

上赤かんぎ町の右

大原

川原と赤見の間に

万石と下野の僧侶の

一条通より水又三通

西原

今出川通の西に

村雲

上る村雲の町也

聚楽

一条通大又通れ西の

松の下

仲の路通とわりの通

三本木

下より通れ西に

西の京

下より通れ西に

菅原口

寺町通草堂の

新五家

通れる水通者町

栗田

三条通白川の

柳の下

今より柳の下に

柳の下

今より柳の下に

柳の下

今より柳の下に

柳の下

今より柳の下に



小幡の棚

四條通新町の江守り  
五筋川筋りお賣場也

衣の棚

三條通室町西へ入町  
は町けり衣高賣と

谷の舟

三條通新町西へ入町  
は町橋お作公金や也

東寺内

東へ七条新中き西へ  
室町通六条通と七条通

西七内

六条より南東へ新町通  
あり大空通りぬる也

名池

安吉世秋池

禁園乃傍小有定  
とくも三伏の夏は

早越池

かゝる早越池とせば水かいらと也  
此池一宮神ありと云り或は此池

大船刻

と云り今を多し大船刻と云ふ  
は池その石像出現しあり則

賢庭

と云ふ池は祿文して又  
條下寺町也善寺と云ふ人

法成池

二条南大空のあり  
神泉苑の池をあり

浄慈池

浄慈池の地は  
浄慈池の地は

空海雨

空海雨と云ふのりは天皇  
空海雨と云ふのりは天皇

浄菩薩池

浄菩薩池の地は  
浄菩薩池の地は

此池の面

此池の面は現しなりは  
此池の面は現しなりは

廣澤池

廣澤池の地は  
廣澤池の地は

大津池

大津池の地は  
大津池の地は

大津池

大津池の地は  
大津池の地は



こもりは也後成歸奇小大津の  
比れりきとぬきゆけとや  
とく清く秋の月

八宗論池  
八宗論の池  
破塚天然の池  
清涼寺の池

帯取の池  
帯取の池  
廣作の池より東の  
池は清くや

ふみたり昔は池よりありて  
ぬく池は常に化してや

月見の池  
月見の池  
山城の園伏見の池  
西の寺と云

小あり徳者西行法師は池小  
て月とせしり

並乃池  
並乃池  
仁和寺の西法金剛  
院の境内あり

御池  
御池  
三条坊の池は池の  
町あり

一鴨居ありては所あり

の水きり先と清くは血際  
れ人汲りたり

### 名水

明星水  
明星水  
台田本社のまある  
くは東の井

なりト都の魚俱はありて  
離るるは明星水上に天降

智辨水  
智辨水  
海部山岩倉三三  
神の傍に別三井

寺の奥乃院ありて今も三  
井もより岡の池より汲り

岩清水  
岩清水  
界山八幡の池は  
より漏出する

香水あり諸人汲りて疫を  
病とのろくともやひはえ

作



香水

岩屋山不動尊の  
堂には岩屋山不動尊の

紅清水

下関長門社の傍  
より出る清水あり

六月廿九日舟中を諸人此  
水に浸して清くしめたる  
夏やとて此水も

茶師清水

堀小路の茶屋あり  
母の茶師といふ

清盛入道熱病よとて  
水に浸して清くしめたる  
ありとて清水に浸して清くしめたる

紫雲水

ひがし山智光院の  
水に浸して清くしめたる

手洗水

烏丸通四條坊の  
水に浸して清くしめたる

あり毎の祇園神の  
此水とて清くしめたる

尼寺泉

八条通の  
遍照心院の

弁慶水

比叡山

朧清水

中山寂光院の  
町にあり

瀬井清水

西山大匠乃里の  
業平朝臣乃

大和やこの水は  
あくやとて清くしめたる

醒井水

醒井通五條下三町の  
乃人衆乃裏あり



柳の水

西洞院三条下町  
一いり一織田の常

真水即ちきばくま井の水外  
此水は勝まさりて井の端に柳  
と植へてまじりたるの事

鳥の水

清水の金廊の末  
も洗水也石井乃

甚くぬくろくと敷付たり

吉水

丸山安養寺の末  
慈法和尚乃古研

清水

下長者所りの川  
四所目いり(圓白秀

清

吉云而茶の水小汲りて  
太茶西乃出に惟  
乃はありれ芝系也

俄天皇は清水とぬとせま  
たふしし心といふ事あり  
あふくをばすと云い川中

洗揚水

栗田口乃末乃れり  
りりりり

仙人水

暖湯中れ洗とま  
人家のたぐも数

名水

音得水

此水日くぬ二ふふ  
比叡山科清水

ありやめ下り積りたる  
諸書よみ出候まを

音

小山大名の里あり  
根井れまのはれ方

山と也融通寺のひり方  
山道三四町もあはれ

瀬

暖湯ありしあり  
子飲たり金葉集

後成つたをよりあり



龍の湯

大井川に流るる木の葉の湯なり  
清流の下にあり異  
國に訪門は此の湯

駒の瀧

あつとくまきまきせくく行り  
必蓋宝山乃下麻谷  
此十町余ありとれ

不動の湯

ふたつもの  
岩屋山也此湯  
ぬきぬおの怪氣  
諸病をもに平金して  
驗れあつとくまきまきせくく

名井

落星井

落星法論もれ  
りあり井上よ小社  
と安をさり釈道昌法師  
おさりり時天とれ星天降り  
あひりとして名付

妙將井

洗水よ此井乃ありとれ  
以下に流るる乃川橋あり  
乃内にもく和泉あり

いづ井

あつとくまきまきせくく  
依見とくまきまきせくく  
諸のり町の中

墨染井

依見とくまきまきせくく  
船是山乃ありとれ  
とそいり

常盤井

不三とくまきまきせくく  
あつとくまきまきせくく  
山科道乃ありとれ

走井

あつとくまきまきせくく  
業師院と云  
ひが山東福寺乃  
境内ありとれ

耳露井

あつとくまきまきせくく  
境内ありとれ



菊水井

むがし山下河原道の  
のりこりふあき

名橋

鶴の橋

中他通鳥丸うへ八  
町小溝のとほり

小ぶ橋也あまきとんきい  
又よきりしういけい

真の橋

東山清水とれ藤三  
年坂の下はゆめ

浄土橋

東山新黒谷中堂の  
辰しむし

蓮の法師う切れて掛く  
こしと石くして下蓮池也

せの橋

小山大東院の法院  
掘井此の茶

とどろ小橋なり張る罪惡の

人此とゆめと

琴弾橋

山城西乃是久世  
ありあ

流紫一流形乃付けくは  
心とひとと深

大橋

三条五条乃大も  
太向秀吉公建のい

増田右衛門尉

庄橋

一条通り川おほ  
とつりしあ

中居寺此淨藏貴下太  
りゆりあ

都てむあく成なるよ  
一とさ

わく葬礼るまきり  
じらひ

清り獲生しうら  
あ

あ



後月橋

暖味大井川に後世  
子大橋なりりりり

石く是此川をくは一向がとせら  
いしりまきま出石垣とて多廻國  
昨乃兆子りこある石垣と月足  
のやうくもよ也

後猿橋

清洲川小川のせ  
りりあり

秋法橋

暖味天龍寺法界  
門北邊也西行法師

相おれ諸答よりわして切らる  
付し下乃今くあべ

通天橋

東福寺乃内也けし不  
紅葉のり石ありり

御厨橋

泉涌寺乃入口の  
りりありりりり

よりの陵墓の山ありあり  
と切らる付あり

安法橋

暖味一乃道の傍に  
け橋の事跡にせ

燭橋

二年しゆきまよるおれおれ  
右田本三町あり

白川橋

三系をくは東白川  
れ流よりりりりり

多々橋

東寺南乃出石ふ  
橋りり道あり

小枝橋

東より馬羽りり  
乃世小慈田のりり

名石

紫雲石

新里各万回堂  
いりり法然上人法

慈眞石

の耐はるはけは  
智恩院に日  
慈法和ありりり



やまのひまぐつらさるるうらまを  
たまふとあり

**誦經石** お神牛尾は教ま  
ありじしに漢和向

此石乃上にく短と誦しあす  
る俗りしむいしと云

**藤戸石** 醍醐三英院の庭  
カク

**鏡石** 一条通り川あり入  
二所ありいばあ

カク石さくく石ありしと大園  
秀吉も林末裏へもくせり  
は所いまたか石の町と云

**糸慶石** 七条のう水菜峠の内  
けふいありはらまは

ありしとある年の大洪水う  
あつて三糸川を町をさる  
此町と云るしははははは

**有縁石** 廣津の池乃水の縁  
かたり碓粥亭まは

所弟子歡賢僧二乃有縁  
石ありと云

**有縁石** 此乃西尾山北尾  
いしへ多相玉師け

あつて有縁有りと云  
江西又八高と云者住し珠珠  
あつてあり

**有縁石** 粟田口神明えれ山  
といあり一行某立善

**説法石** 深草山真塔寺の  
境内あり日蓮上人

上は乃弟子日像説法しあり  
石よ糸あふとてく名付あり

**虎石** 根谷日蓮家のま  
ありありはは



柳多場通押小浜下止町一區  
と太閤秀吉云伏見乃城行  
とりのあひしとを

**盲目石**

清水寺地権現の  
茶あひけるなる  
此の場居るるよりわがまそ目  
とぬささくあめさうに  
らまてりあてりいひ古美  
由緒の事いへきまけり

**鶴石**

西ざしん通三条下  
二所同いみち  
嗣ふ乃あててを場院の所  
時よりぬえとら化馬禁中  
とささくいふとあけしあひる  
休とくるとそ俗より鶴乃こ  
しきとと

**鏡の石**

紙屋川のあけり  
紀貫之あにうを主

のあつたあ髪やかたうと  
凡のうらむとあまの白岩  
とらと此石乃ま也

**下馬石**

下馬磯ひくの入に三  
所をりしり  
院とそ寺乃条あり暖湯天  
皇乃御車行とあけし  
てさまりぬさにおりめ  
とそりあひけるよらと  
まふゆくくあ付物

**歌石**

嵯峨三多院の内  
ありけし  
起ち下かあり代に核帯あ  
とつり又ははかりんるそ  
ありのこぶえさけしと



アノ附録にほるけり  
鞍馬正谷  
コノ丸世の石  
口又山尖の月  
りくに弁花の  
道は

岩本

西山

西山大系  
西の法師

松ありと又東  
はと西の松

一本方

黒松

深草  
の肉

小松  
の多

ありと内者  
甲納と成範  
松西の縁高  
乃人あり  
あくと松

獨松

東寺  
の松

青松寺  
ありと松  
ありと松  
ありと松  
ありと松

檜松

天  
の松

ありと松  
ありと松  
ありと松



ねりかひのまきりて

紫雲松 西山栗生野老の書  
根一本にして末三本

ありは法統上人滅後十七年安

貞二年正月廿四日山王寺より人

所遺骸と兼毗のり付け松

ついで系雲たふひきりたる也

影向松 中野所堂乃茶  
初堂乃朝彦相忠

此松即影向とて仰付とゆへ

ゆふともそ又の派くは松と糸

慶長寺とていふなり

御入力松 四條通い乃まのり  
竹や町人家乃表也

いふ一九高判友は松り大井掛

とてまふゆへに付とて又乃

流りかり川乃所下は近隣松

内たはとて即鉄乃まていん

とては誤りなり

朱開紅 誓教寺法も春日  
大の神は茶方乃紅

梅也は花はまの盛なりねあ

花も海文くまふ井かまはる付也

朽獨松 峯磯ニ多の院乃内  
定家郷ふよ母

ものともあふとてやまれと

この松をあまてひうま

鶯宿梅 京極通セのらんと  
下誠心院の内和泉

式部墳基乃かきりの梅也

中宅天松 廣付乃地のひらひ  
ふれあふとて乃茶

乃まのりなり

子貫松 長者小路通三南西  
母や町とら大ま

あり天乃のまは所なり



新向掠  
海乃小七野社林木  
の古木あり

七本竹  
暖かい川とて乃  
は葉竹也根一本あり

末七本あり

馬鞍系松  
宇治

四派松  
妙心寺は堂の本

光の松  
西山粟生光の寺

### 名塚

將軍塚  
海东山長樂寺の上  
と云り桓武天皇系

甲野と云て西向の埋の部  
の守護神と云く多天下位

塚  
受乃すありんそかかふんは  
塚動と云

麻間塚  
清水寺鐘樓堂傍之  
田村おまの山行の塚

耳塚  
此麻と此下は塚と云ん  
大佛あり是也大岡寺  
云綱野人の耳と云ゆ

畜生塚  
三条小川上ル瑞泉寺の  
あり(お茶屋乃園白石台  
をまき女を産花科乃らあり

金輪塚  
塚町通お茶屋上所とい  
あり(お嬢方女子あり  
と云頂きかたをへまてあり

鬼女と云りて  
鬼女と云りて  
降伏口と云て是也

夕顔塚  
この町通は下町  
あり(光保氏あり



あるまじきなるふくま東あつりのあふ  
くまのれ宿とつるもけ西の事也  
あいの所通一ふ西各各  
三町下点の事也

甲塚  
武蔵あんの橋たよ

下死塚  
右同下西ノ口

四ツ塚  
東も南出口

### 名山

名宅山  
名塚の正方西也ハ程三里  
余京三条通下り西へ出て

さのや川系帷子の辻太素塚  
また二里是が中流より一里の流  
ゆるも是が坂道又十町也試の流  
家又く川への松あり清原河橋  
あり尖折の松現清原より西河  
境の松五丁目是が雄榎尾

とゆる。秋のむき成板あり毛  
より月の輪観音堂こゆる目  
此跡あり毛よりかりもあつ  
大岩六町目毛より丹波松山  
の株とゆる。○下れも春上るも  
けふりまきもなる也

比叡山  
王城の正宣がりの行経也  
里京極今出川又西口川

愿へ出松の跡乃東山とてかこ村へ  
お修学寺が聖母さう越道あり  
那のなりの寺に言のつとて  
出矣月の里より行道とてか  
とてま月より六町所坂を走  
け山のうら大比叡大山獄林の留  
士籠ののうの我立松板乃川  
さ小比叡八西塔横川の中間

八幡山  
王城の未申にあり  
道四里也大宮通東

寺口より南出鳥羽横大流  
より定まるとはより一里是け



山男山と鳩のふりし

**岩屋山** 郡の小西にありの所  
四里余是室町の所

備後口より上りて又下りて  
赤坂車坂より上りて又下りて  
水すくふ所ありてくも道あり  
そしけり七曲の坂を越て而して  
畑とす

**鞍馬山** 此山郡の小西にありて  
三里也是町通の所

ら坂口より上りて又下りて  
赤坂車坂より上りて又下りて  
水すくふ所ありてくも道あり  
そしけり七曲の坂を越て而して  
畑とす

**必意室山** 東山にありて  
毎年七月十ウの夜  
大文字の火はけり

**高雄山** 此山郡の小西にありて  
三里余あり

のり三里余あり  
此山郡の小西にありて  
三里余あり

**岩屋山** 此山郡の小西にありて  
三里余あり

此山郡の小西にありて  
三里余あり

**晴糸山** 此山郡の小西にありて  
三里余あり

此山郡の小西にありて  
三里余あり

**麻月山** 此山郡の小西にありて  
三里余あり

此山郡の小西にありて  
三里余あり



少のまゝふひりせ山

衣笠山

信州西仁布郡の西也衣笠内大島の旧跡ありて

栗田山

春日の末社ありては社名栗田山といふなり

花山

東山清水と云ふ東南ありて通照乃河沿也又山科

笠丸山

醍醐山の南本幡の東大山なり在東え方なり

小塩山

信の西山大原郡の西あり京より西なり

荒山

信の西松尾の山は信濃の郡界の山と云ふ山なり

亀尾山

信の南根と云ふありては信濃乃白玉千代の郡なり

中野山

信の南と云ふありては信濃乃白玉千代の郡なり

丸尾山

信の南と云ふありては信濃乃白玉千代の郡なり

大内山

信の南と云ふありては信濃乃白玉千代の郡なり

氷室山

信の南と云ふありては信濃乃白玉千代の郡なり

小山

信の南と云ふありては信濃乃白玉千代の郡なり



神山

則加久茂也

御氣山

世俗ニみあき山と云  
加久茂かりむえん

佐山

三〇あり一条ノり少通  
かり衣を山ノり未

申の方おして帝まのまのま  
と一説也云う六内表れ半

神代中山

清水山の南かり清水  
寺乃上ノ山也

多勢山

是と清水の南西也  
あき人々も墓而也

秋山

小松若夫の住は山はき也  
此山南を根の里の東

森山

都ノり南本は飛  
ちノりちのノ山也

小倉山

暖職ニも院乃ノ山  
此山ノり定かつ四徳

朝日山

宇治真智寺のノ  
る此ノ山ノり新古

とろろ大婦家ニ林兼とハ宇治此川  
雲をこめて西も三見山ノ朝日山

名川

加久茂川

加久茂河社の東のノ  
流る川也別川ノり云

あ上ノ車坂乃藤ノり流きて未  
あ三条立条の川魚ノりあき也伏  
見定川(あき)

加久茂川

則加久茂川也長明  
亦ニ石川やセノ川

のノりあき月とあき也と云  
はひてそすむ

清原川

さうりあき之ゆ道  
此山乃藤ノり

川あり



御倉流川

下城流社社の東に  
水と清水より出る井也  
と云ふ社井垣あり此川より云

大井川

西城流天竺の  
水と清水流川あり此の尾山  
と云ふ是れなりて前山の東  
の林麻と南へなりて清流之銀  
俵大井梅はうらうらと流す  
ありて未だ流川より出る也

鳴瀬川

仁和寺の奥にあり  
小河なり

紙屋川

山崎・西平野・東平  
谷より入る川なり

中川

御倉の南とありて  
南へありて是れ中川なり  
係氏乃沖より入るの秋室  
此川の住する中川の宿と

りるもはあり成へし出川と  
も京極川と云

芥川

嵯峨天竺流此川なり  
ありて小海川也又  
申く是れは教院此川なり  
しりてありてありてありて  
政亦大政大臣ありて芥川の  
も昔よりありてありてあり  
さこの山風又多なるも芥川  
の里ありて別あり

白川

此川京極と出川なり  
十八町也下なりと云  
川のありて南禅寺の御倉  
にありて寺の門前より西あり  
也智恩院古門前より大和  
橋へありてあり

あり橋川

下嵯峨丸太町東入に  
ありてありて新古今中  
院右大臣ありてありてあり  
なりてありてありてあり



のうけをまする

宇治川

京より辰の方三里  
水と八道にのみ海よ  
りかかるとおして未だ淀川へ  
ある川に少ながらるまじく橋を  
たす面よりけきり山吹乃原橋  
乃橋橋の少橋二つ橋は日よ  
くらふあり又宇治川とよ  
宇治と本懐乃中間也

淀川

京より未申れ方三里  
か久後川宇治川伏  
見より川にふたふた又未申川  
か川二つを合せて未だ坂あり

伏見川

伏見と宇治との中間  
よあり新恒のあ  
は田川ゆへ白糸より川一より  
えりて宇治やるん

泉川

都より南条より  
道ありて未だ川  
のせしめぬは此の名也

木津川

は川を御舟と未だの  
里とれ間ありと  
は川なり本はとま川乃南也

玉川

京よりありて道乘  
よはどききり法園  
田名不承なり一室乃玉川山吹  
とよりありて玉川乃山吹か  
どとていりかむはむとむと

梅津川

海乃西松尾より京也  
舟はあり恵の法  
師の梅津川とむとむと乃  
無火より底乃もくむとむと乃

松川

西の川より七条通乃  
西なり

貴布祢川

京の西也中間十町  
なりと後乃錦乃  
まてづの川垂るゆへ乃名は  
水とてく秋の夜乃月

堀川

由の川乃西松尾の  
東なりと名好忠也



水よとらるゝめてたれかあつたり  
二つひとめりわりの川の水

美稜川  
今更乃名石の節よ  
あつたり川なり

由奈川  
さか観音寺北西の  
の小川なり

檜川  
本懐乃里らく字路へ  
ゆく道なり後本より  
都出くふと起る四方八ま川  
うらつりことと檜川なり

### 山

鷹之嶺  
は乃今今又公家所たつ  
しり山なり不家なり

光収乃山名あり大窪菴と云  
神圃の玄沢某園乃山今あり  
白雪と名なり

河津池の峯  
名林なり池の方あり  
こころなり歌懸給道  
池あり又栗田口の南の方と

大虫嶺  
あつたりなり  
小山なりり此里なり  
名は延徳師 毘沙門院  
と誦して大蛇と伝ふ所 家ふ  
すて一ふとそ

善寺  
西山小坂山の西園  
二千三百の観音堂あり

此外能者の嶺鳩乃名観音  
いほこと山の形よせ

### 谷

麻古  
如意堂山の麓なり  
後寛徳年并乃山名

こつて平判女康頼丹波少納言  
家より平家遊技乃定定あり  
しやせ

傳正名  
鞍馬山の奥西乃なり  
不動明王示現の地あり  
て牛の長法紐術と傳授あり



大岩

高き山乃南なり親  
窟より人の浄土門西の  
岩を并沖墓示ありいみじき  
乃々示かり

霞岩

涼草かり

黒岩

比叡山西塔狭川の平  
間かりは松上人の所  
住かり介世語ありと云ん  
ケルンゴト云

狢岩

萩森より大は「かふ  
しらかり

長岩

賀茂乃東小女余所  
乃間かり花園岩  
カキトシラカニ位侍之文  
見候よは是れ八幡よりありて  
長岩よりあり吹かり

神岩

系しわら山候か  
ケラかりひら明  
神下西条より二里かり

泉岩

小山唱候の内也

小松岩

大佛より滑岩かた  
其れ方大岩の南の岩

滑岩

大佛より大津候か  
其れ道より也又滑岩

奥の所北南音羽候の傍より  
ほろき道ありをよりと云ふ

胡詠岩

いんろく乃水の方也  
系大納言云仁歸明  
詠集ろくよりあり

坂

西三母坂

比叡山西坂を以道

目降坂

吉田山より林麻かり  
いみじ目論定より手紙

長坂

賀茂乃東より山々の狭乃  
境かり







西尾

桂川乃西より東へ

目見

栗田口山の東なり

里

山階里

郡乃石也栗田口より相取河の中あり

四乃三をさくつ下あり後撰

三条右大臣の宮ニともありてよ

なるんより山志のなる乃車

深草里

東より辰巳方にか

歸赤よりかき大空より新

伏刀人里

深草乃里つらき京

伏刀人より大和乃くちあり

木幡里

伏刀人の東也於遠人か

紫雲里

西山栗生里より南

は山の麓よりさくつと竹の紫雲

根井里

山おろし乃をたれり

む尺の氷のひまきこまき

行住里

山太本山のあひあり

せとせむし首金ハより大石

小倉里

宇治の町と西より

伏見より八里より南のこま

あこまより小倉名授とゆり

瓜生里

麻谷乃麓也



八咫里

京より世宣の方なる野よりわあままり京

名宿里

京より二里也は不ふま本とまの

山崎の西也

京より二里あり

後も羽院河多敷よ中井とふ  
厚の所凡二月とてを羽田の  
里より衣井あり

本林

多武社

海の南吉祥院のトコ大  
岡夫吉と云る雨麻床の

首金不は不直たふひをとあ  
なごさかどとてよりそく焼拂ひた  
まつりとを

弁本林

上野八幡社の傍に  
鴨の大明か

あゝの祭よりりくと何おもひ  
交れ社乃志めり下る

行忌本林

又八幡門のり山のウカ  
アは多武ア交ニ明

檜垣森

白川の由りりてのり  
檜垣の道ア

浮田森

淀乃小橋の由大つま  
のりよりちりく丸交

大まき森

まし浮田のよりり  
あよりをり又山上市

原村のあり

ふ日るあり  
松尾とあり山の平の

新倉森

間かりり續拾遺の氏  
とよりてよりかきとる

羽来師社

横大海の西あり後



如歸宮、力りしても神やまやま  
おかしらぬ身とてその森のちり  
柞くわの森 京より大和へゆく道物  
野々西よりありはたき

堀川左大臣の柞の社あり  
よの柞とて柞の社あり

神南備社 山邊乃西也  
二兩社并しれよ余

柞くわの社 柞の社あり  
は余野く傍あり

大夏おほなつの森 加久茂へゆく道あり都  
のあり大夏通あり

友ともの森 深草北南の方也

大標おほしるの森 定治とてありあちあり  
室戸よりあり

荏じんの森 壬生乃東のくも也

聖護院せいごゐんの森 加久茂川乃東とて  
乃わたりはしる

紅べにの森 下野乃森なり

野

内野 小野右進る場乃南  
少とてあり

小野 王様乃成まありて  
天海まはしりあり

紫むらさきの野 大徳寺乃大右也

上野かみの 今まはれあり

秋野あきの 上野へ板あり又あり  
くろく野とてあり

平野ひらの 小野 西なり

蓮はすの野 船場の南乃くも西とて  
野には内とてあり



右七野也

拍野

千平新也堂乃板也

ト野

紫野日下又か六  
紫野かくびのやに

乃てまるといふわがま  
あかひさしは紫野のト野の  
ゆゑのふんむやまの袖も

次野

拍野成ま乃方と云  
人うら昌なり手かの

小野

ひえ乃山の西坂中  
小野しりふ下二つり

一ふか松の縁乃ありより南の山  
強まてと云二ハ小野九歸とて  
小野ハ九ツ乃鳥リハ高野を  
是小野東の方なる地取と  
云とも赤よあつる川と云能川  
と云る野と赤と小野畑と  
名付は下よ少野橋ありと

乃小野繩多と云係はツメ  
秀乃大おれ通ひあひハ下  
と凡さり合紫集ニ雲乃と  
ういひて咲る卵の苑よ小野  
里人ぞこりりとか

美豆野

從北南の方也といハ  
津牧とゆきと云

安乃事なり

朝日新さく山吹うさうつ  
ゆるさうのく山あひの袖 紫陸

岩田小野

安乃信乃小橋の小  
信田の森のわたりか

ア枝多相津製表

久かたる振の本末いふ人  
岩田乃小野又付魚ゆらり

栗栖野

伏見の赤瓦砌乃ぬ

火野

山階の口花山れと云

拍野

京下りりむと云道  
本はよちと大納と



新光婦の歌

音よきく物中悔り此血つとり  
とたりくかりむるあふり

大原野

むら三里中神乃方あり  
春日西と物清じり

勝の清水あり古今業平あふり  
大原や山楯乃山とくふくそくわ  
秋代乃くそとあふひ出くめ

多祁野

山の部よあり

清廣野

日の曇れあふ大智天  
皇の陵あり

清水池

京の山邊へ物惟子  
の池西乃方芝る池

今も清水よき出るあり

原

美鳥原

智恩院の上ある美鳥原  
あり美鳥和当新  
松と雨れ流りてまつる原に凡く

市原

原乃小くそつ他のあり  
在ふかり安ニ小

小町墓ありけ下新原と他  
業とと

大原

都より三里八原あり  
一アしむかり

新原

大原よりわれく西  
あふそりそあつては

原とよきと成あふ  
宿まのくかきあつれあふく  
あつかりきあつては居とよ  
りより新原とつとよ

鹿原

京より大和へ物道作  
の森うつきてこの原

あり古今集に都出てきふこの原  
いつ川に凡くけ衣を山よき  
綴原

本は川ちか續古今  
の家つと月のでき  
くこれ秋まふるとよとあま  
まふるあふ



檜原

あし三山の中程也あそ  
ね忠、あそ、壺岩山と

こころ原より雪はゆるりたつこ  
人乃跡きこしと那ー

櫻原

七条通乃西丹波へこ  
ゆる道なり

梅の系

松尾乃系なりあそこ  
かひよなき梅乃系

は妹うたをよみうり香をす

尾

雄棋尾梅尾

いづれも都の  
乾よあつと

あそ思れ山つぎなりこ雄ハ棋

尾乃南梅尾ハ雄乃西あり

棋尾と二百五十枚持あふ律院也

牛尾

山科通をより三四丁  
辰己乃方よ小山村と

えあそえより大余町よりて牛め  
尾よむら雪水もの奥流なりとて

水尾

笑詠しわあそこ  
信和天皇とある尾は帝

くPととほまじりあそこ

西尾

信水寺乃山のわれこ  
み有とつり

松尾

都の西紫雲乃里松  
かり社以系向一力代

と松の尾山れけあそとそい

岩尾

あそり嶺のわ也思の  
とよええ石二つたれこ

とくきくらがくつこ

草尾

小山大原乃里かり

尾

松尾

あそを五条より出た  
七月十六日梅尾の雪のあそ

思尾

三条のわあそ川乃  
万葉集思尾乃曲

巻一 五



きし道と人かよひそわりてこ  
まろく道ふせん

山崎

京々未申の方三里余  
わり西國一れ佳境のた

小崎

宇治よりわり續古今  
有る光俊おこ

小崎小崎崎乃山崎乃  
人乃かご成ん

嶋

木の崎

かろび乃長の色也  
式か水となく舟し

かよる乃崎乃  
れかまめいん

横崎

宇治平野院乃水の  
方なり右に乃

川志まあり  
田とあり  
限しかき月乃  
布マ

楊崎

徒あり

田

竹田

多羽の木の乃  
東田院乃南

まり乃家歸  
竹田乃乃  
二田

二田

吉田

京一の東小  
拾遺三平

名  
は

篠の隈

山階の内を  
火

千代

後藤  
川

千代古道

暖家  
道あり



降まらぬからるの舌乃ぬき日  
少く世新川よりさかばはるん

### 山吹の嵐

山吹の嵐は  
そとやの西園寺入乃相ふ  
あふらうの山吹の嵐よりまみれた  
揮うるや中治乃川也

### 依江中流

依江中流  
あふ田とも先後の  
長乃分いふ人今為る中流乃  
水く人小堰入りるるふらう

### 張の嵐

張の嵐  
古今の張の嵐は  
あふと出ていふぬらうそと  
川下小やいふぬらうそと

### 井の

井の  
山珠乃井の玉水  
とつげさるる世系  
よりあふいゆ道かり橋流先  
は不付たまひいゆる井の  
左大臣とともり

### 三木橋

#### 宇治橋

山城の宇治川流

#### 皮大橋

山珠木は川流

#### 勢田橋

江列湖に流

### 五岳

#### 如意宝山

山城麻生 山城名峰

#### 比叡山

山城名峰 高千穂山

#### 金剛宝山

大和

### 五三昧

#### 西院

竹田イヤ山

### 七瀬

#### 川合

朱産那三ノ瀬 山 耳敏川 松崎

#### 東流

大井川 西流



西園寺法中野之  
石乳

# 八景

修學院八景

村路晴嵐

修學院清

堂岫幽雅

松邊夕照

茅葺秋月

平田云霞

隣里秋雨

觀音堂

修學院八景

北内堂

流云溪

洗密科

枕流洞

龍潭

洛西溪八景

小倉紅楓

龍泉

廣民林

洪川水多

清涼

名辰積石

稻荷山八景

三多春眺

信長月

青曉

美野晚霞

雷激

瀑布

東山泉涌寺八景

老瓦堆石

鴨川流

空通

懸岩淡烟

空山落日

古音

音相聞

眾利

雨

# 十景

洛陽十景

清水佛欄

知恩

發古樹

稻廟

東山秋月

天台晴

柳岩群

名石

山階夕照

東山十景

天台積石

堂意秋月

塔

瑞雲吹

名會海推

院湖

花頂積翠

祇園吹

清水白楊

慈林

清水十景



古崖懸泉 春巖開苑 音羽異臺  
石鏡洗池 洛陽万户 鴨川一市  
東郊烟雨 西望七跳 岩嶺晴石  
永真暮露

紫雲山十景

紫雲山十景 台嶽秋庭 神農躡蹻  
鴨綠夏雨 獅谷松月 石川急流  
松林翠瓦 雲霞灑煙 徑林幽淨  
白川推袂

愛宕山十景

愛宕山十景 洛城古院 魁山空寺  
水頂層樓 巖峯晴市 桂川急流  
高雄丹机 廣澤書雨 水尾野烟  
清池五月 月輪松澗

修學院中苑十景

修學院中苑十景 藏六菴  
苦花樹 秀月觀 隣色亭  
寧曲橋 沈詩臺 浴鉢池  
窮邃軒 止齋

乃松鳴

醍醐十景

醍醐十景 本山深處  
皇峯紅紫 炭山壁梅 西嶽秋月 真言古齋  
丈岳傑觀 橫峯幽壑 石甬采殿  
南籟松雪 寂谷觀花

十境

南禪寺十境

南禪寺十境 羊角攀  
白雲洞 独秀峰 鼎石堂 續善亭  
峯於池 曇戶廟 愈好亭  
蘿月菴 蒼蒼藤林

天龍寺十境

天龍寺十境 靈座廟  
普明閣 絕唱谿 拈花嶺 度月橋  
曹源池 三級巖 妙頂塔  
萬松洞 於口亭



相國寺十境

般多林 妙善巖 必通橋

法音橋 多寶殿 妙法水

切律池 天界橋 護國廟

祝聖堂

東福寺十境

妙雲橋 選佛場 潮音堂

楠檀林 思遠地 成統殿

通天橋 千松林 耳堂

洗玉碕

万壽寺十境

十地超橋 大雄堂 三山神廟

千松客位 枯木園 新花更雨

東郭 南院 琴臺

瀆沼

建仁寺十境

慈觀橋 聖廟橋 大悟堂

群玉林 入定塔 樂林廟

心盡燈 清水山 才五橋

鴨川水

大德寺十境

蓮峰 瑞雲殿 看雲亭

金剛刺 古岩松 起雲亭

官池 梅橋 雲門菴

明月橋

妙心寺十境

萬歲山 枯華室 度香橋

百花洞 字少川 旧藉田

南華塔 齊文社 鷄足巖

高安灘

十二景

珠小水至十二境

自寬硤 攀月巖 七竈溪

落猿岩 眼雲峯 轉依三

憂珠灘 服涼坂 雲海橋



浴月沼 羨水古跡 凌隄山吳

深林十二境

不覺在松 悲田梅 黃鸝瀑

通天橋 川流廊 礙千楸

烟漏亭 變野橋 白蓮池

幽樵蹊 濯錦泉 以系中龍

八幡十二宗

德山吳社 洛城瑞雲 石水清涼

宛礪齊月 天台積常 徒搗斜懸

孤川征帆 伏以流 歎波陰依

山崎曉津 溪夢苦扇 釣晴凡

宇治十二宗

春眉醱醱 清湍螢火 三宮石瓶

長橋曉客 初日露暉 薄暮朱丹

橋根水社 釣釣秋月 扇芝孤松

猿鳴曝布 浮船古祠 真常照淨

京師三堂一之卷終



